**令和元年度熊本県地域医療支援機構の事業実績**

**資料１**

医療法等の改正に伴い、地域医療対策協議会の権限強化が図られ、機構の組織について整理されたところであるが、熊本県から業務を委託された熊本大学病院が県と協力し、着実に事業を実施した。令和元年度の主な事業の実績は以下のとおり。

**１　県内における医師不足の状況等の把握・分析に関すること**

・　熊本県医師修学資金貸与医師の派遣対象である35知事指定病院等に、医師不足の状況、教育指導体制及び待遇等についての調査を実施。

**２　医師不足医療機関の支援に関すること**

**①　医師が不足する医療機関への診療支援・研修医等教育支援**

**・　上天草市立上天草総合病院、天草市立御所浦診療所、小国公立病院、公立玉名中央病院への診療支援。**

**②　地域医療・総合診療実践学寄附講座教育拠点への研修医等教育支援**

**・　玉名教育拠点（公立玉名病院）へ指導医派遣。**

**・　平成31年４月に天草教育拠点（天草地域医療センター）を開設し指導医を配置。**

**③　遠隔診療・教育支援システム（テレビ会議システム）の構築支援**

・　天草市立栖本病院及び天草市立新和病院**にテレビ会議システムを設置。平成28年度から合計11のへき地医療機関等に整備済み。**

３　地域医療を志す医学生及び地域医療に従事する医師のキャリア形成支援に関すること

**①　熊本県医師修学資金貸与医師・学生のキャリア形成支援**

**・　貸与医師等32人、貸与学生44人の面談を実施（平成31年4月～令和元年12月）。**

**②　熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラムの周知**

* **地域医療支援機構ホームページにキャリア形成プログラムを登載**

**・　貸与医師及び貸与学生全員にプログラムを郵送するとともに説明会を実施。**

**③　総合診療専門医及び指導医の養成、確保**

**・　玉名教育拠点、天草教育拠点への指導医派遣。**

**・　テレビ会議システムによる研修医指導等の支援。**

【裏面あり】

**４　医師に関する求人・求職などの情報発信に関すること**

**・　リクルート活動により、令和2年４月から、福岡県の医師を４月の天草教育拠点（天草地域医療センター）に常勤医師として採用予定。**

**・　学会等におけるブース設置等（日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（令和元年５月18日～19日））。**

**５　女性医師の就業継続及び復職支援に関すること**

**①　復職支援コーディネーター等による女性医師の復職支援**

**・　相談件数（延べ74件）。**

**・　お留守番医師制度の実施（新規1人、H29からの継続4人）。**

**②　女性医師メンター制度の運用**

**・　メンター連絡会議の開催（1回）。**

**③　女性医師等の対象とした研修会等の開催**

**・　セミナー等の開催（２回）。**

**⓸育児支援**

**・マタニティ白衣等の貸し出し（利用件数5件）**

**６　県内外の医師、医学生、医療機関等からの相談対応に関すること**

**・　専任医師等による相談対応。**

**・**県外在住の県出身医学生を対象とした**熊本県地域臨床実習支援制度（肥後ふるさと実習支援事業）の実施。琉球大学の医学生（貸与学生）が、公立玉名中央病院の**実習に参加。

**７　その他、支援機構の設置目的を達成するために必要な事業**

**①　地域医療に関する講演会の開催**

**・　令和元年11月25日（（熊本市）：テーマ「社会的ニーズに対応した総合診療医の育成」、講師富山大学医学部附属病院山城清二総合診療部教授。**

**②　地域医療に関する周知啓発**

**・　メールマガジンの発信（9回）。**

**（以上）**